

# 近年の自然災害における 災害廃棄物対策について

令和元年7月3日  
環境省 環境再生・資源循環局  
災害廃棄物対策室

# 平成30年度に発生した主な自然災害

災害名	発生日月	損壊家屋数	被害の特徴	処理の状況
大阪府北部を震源とする地震	平成30年6月	全壊:18 <sup>(※1)</sup> 半壊:512 <sup>(※1)</sup> 一部損壊:57,546 <sup>(※1)</sup>	・通勤時間に発災したため、職員の出勤が遅れ、初動対応時の被害状況の確認に支障が生じた。 ・大きな家屋被害はなかったものの、一部の廃棄物処理施設で被害が生じた。	○災害廃棄物処理は1自治体で実施中。 その他の自治体は処理完了。 ○処理施設は全て復旧済み。
平成30年7月豪雨 (岡山県、広島県、愛媛県)	平成30年7月	全壊:6,603 <sup>(※2)</sup> 半壊:10,012 <sup>(※2)</sup> 一部損壊:3,457 <sup>(※2)</sup> 床上浸水:5,011 <sup>(※2)</sup> 床下浸水:13,737 <sup>(※2)</sup>	・非常に広範囲で、同時多発的に甚大な被害が生じた。 ・初動対応が遅れが生じ、発災後の速やかな体制構築ができず、片付けごみが路上に堆積する事例が生じた。	○身近な仮置場からの片付けごみの撤去は完了。 ○損壊家屋等の撤去・解体について順次実施中。 ○広島県の2施設が復旧作業中。
平成30年台風第21号	平成30年9月	全壊:26 <sup>(※3)</sup> 半壊:189 <sup>(※3)</sup> 一部損壊:50,083 <sup>(※3)</sup> 床上浸水:66 <sup>(※3)</sup> 床下浸水:505 <sup>(※3)</sup>	・暴風雨に加えて高潮の影響により、一部の廃棄物処理施設で被害が生じた。 ・一過性の台風であったものの、非常に強い勢力で日本を縦断したため、多くの家屋で被害が生じた。	○災害廃棄物処理は5自治体で実施中。 その他の自治体は処理完了。 ○処理施設は全て復旧済み。
平成30年北海道胆振東部地震	平成30年9月	全壊:469 <sup>(※4)</sup> 半壊:1,630 <sup>(※4)</sup> 一部損壊:12,298 <sup>(※4)</sup>	・地震による直接的な被害に加え、液状化や停電が発生し、食品廃棄物等が多く発生した。 ・停電の影響により廃棄物の収集・運搬及び処理施設の稼働に支障が生じた。	○片付けごみの処理は完了。 ○損壊家屋等の撤去・解体について順次実施中。 ○処理施設は全て復旧済み。
平成30年台風第24号	平成30年9月	全壊:50 <sup>(※5)</sup> 半壊:26 <sup>(※5)</sup> 一部損壊:77 <sup>(※5)</sup>	・一部の島しょ部の廃棄物処理施設で被害が生じた。	○災害廃棄物処理は4自治体で実施中。 その他の自治体は処理完了。 ○処理施設は全て復旧済み。

- (※1) 【大阪府】大阪府北部を震源とする地震に関する被害状況等について（平成30年11月2日14時00分時点）  
【大阪府以外】大阪府北部を震源とする地震に係る被害状況等について（平成30年7月5日18時00分時点）
- (※2) 平成30年7月豪雨による被害状況等について（岡山県、広島県、愛媛県の合計）（平成31年1月9日17時00分時点）
- (※3) 平成30年台風第21号に係る被害状況等について（平成30年10月2日17時00分時点）
- (※4) 平成30年北海道胆振東部地震による被害状況等（第120報）（平成31年3月6日16時00分時点）
- (※5) 平成30年台風第24号に係る被害状況等について（平成30年10月2日14時00分時点）

## 災害廃棄物の発生量(推計量)

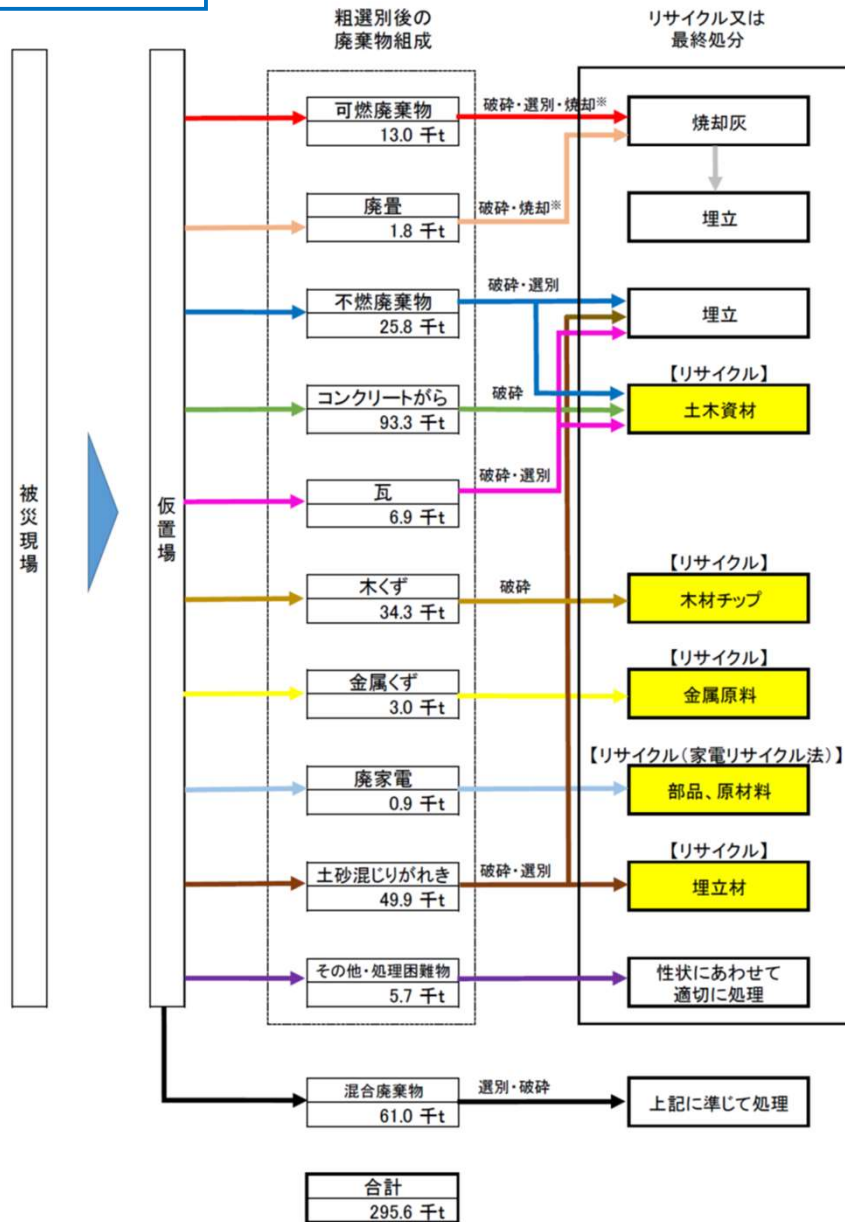
災害名	発生年月	災害廃棄物量	損壊家屋数	処理期間
東日本大震災	H23年3月	3100万トン (津波堆積物1100万トンを含む)	全壊：118,822 半壊：184,615	約3年 (福島県を除く)
阪神・淡路大震災	H7年1月	1500万トン	全壊：104,906 半壊：144,274 一部損壊：390,506 焼失：7,534	約3年
熊本地震 (熊本県)	H28年4月	311万トン	全壊：8,668 半壊：34,720 一部損壊：162,562	約2年
平成30年7月豪雨 (岡山県、広島県、愛媛県)	平成30年7月	180万トン <sup>(※1)</sup>	全壊：6,603 <sup>(※3)</sup> 半壊：10,012 <sup>(※3)</sup> 床上浸水：5,011 <sup>(※3)</sup> 床下浸水：13,737 <sup>(※3)</sup>	約2年
新潟県中越地震	H16年10月	60万トン	全壊：3,175 半壊：13,810 一部損壊：103,854	約3年
広島県土砂災害	H26年8月	52万トン	全壊：179 半壊：217 一部損壊：189 浸水被害：4,164	約1.5年
伊豆大島豪雨災害	H25年10月	23万トン	全壊：50 半壊：26 一部損壊：77	約1年
関東・東北豪雨 (常総市)	H27年9月	5万2千トン	全壊：53 半壊：5,054 浸水被害：3,220	約1年

(※1) 被災3県(岡山県、広島県、愛媛県)の合計(平成31年3月末時点)

(※2) 被災3県(岡山県、広島県、愛媛県)公表値の合計(平成31年1月9日17時00分時点)

# 岡山県における災害廃棄物処理進捗状況 (平成30年7月豪雨)

## 処理フロー



※: 可能な限りサーマルリサイクル(熱回収)を図る。

### (1) 災害廃棄物の処理状況(平成31年4月末時点)

発生推計量 (A)	処理量(※) (B)	進捗率 (B÷A)	処理完了 目標
29.6万トン	19.5万トン	65.9%	2020年 7月

※速報値のため今後変わる場合がある。

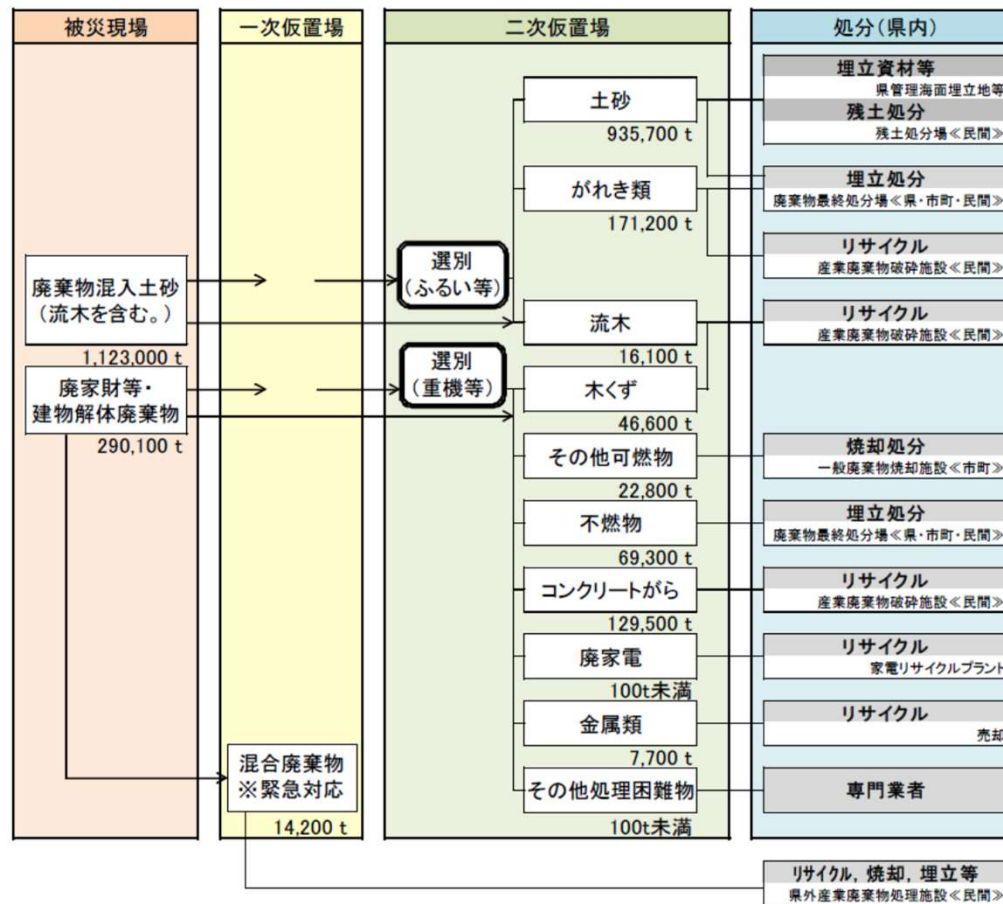
### (2) 損壊家屋等解体の状況(平成31年4月末時点)

申請棟数 (A)	解体済棟数 (B)	進捗率 (B÷A)
3,017棟	1,592棟	52.8%

出典: 岡山県災害廃棄物処理  
実行計画(平成30年10月、岡山県)

# 広島県における災害廃棄物処理進捗状況 (平成30年7月豪雨)

## 処理フロー



出典: 広島県災害廃棄物処理  
実行計画(平成30年8月、広島県)

(1) 災害廃棄物の処理状況(平成31年3月末時点) (2) 損壊家屋等解体の状況(平成31年4月末時点)

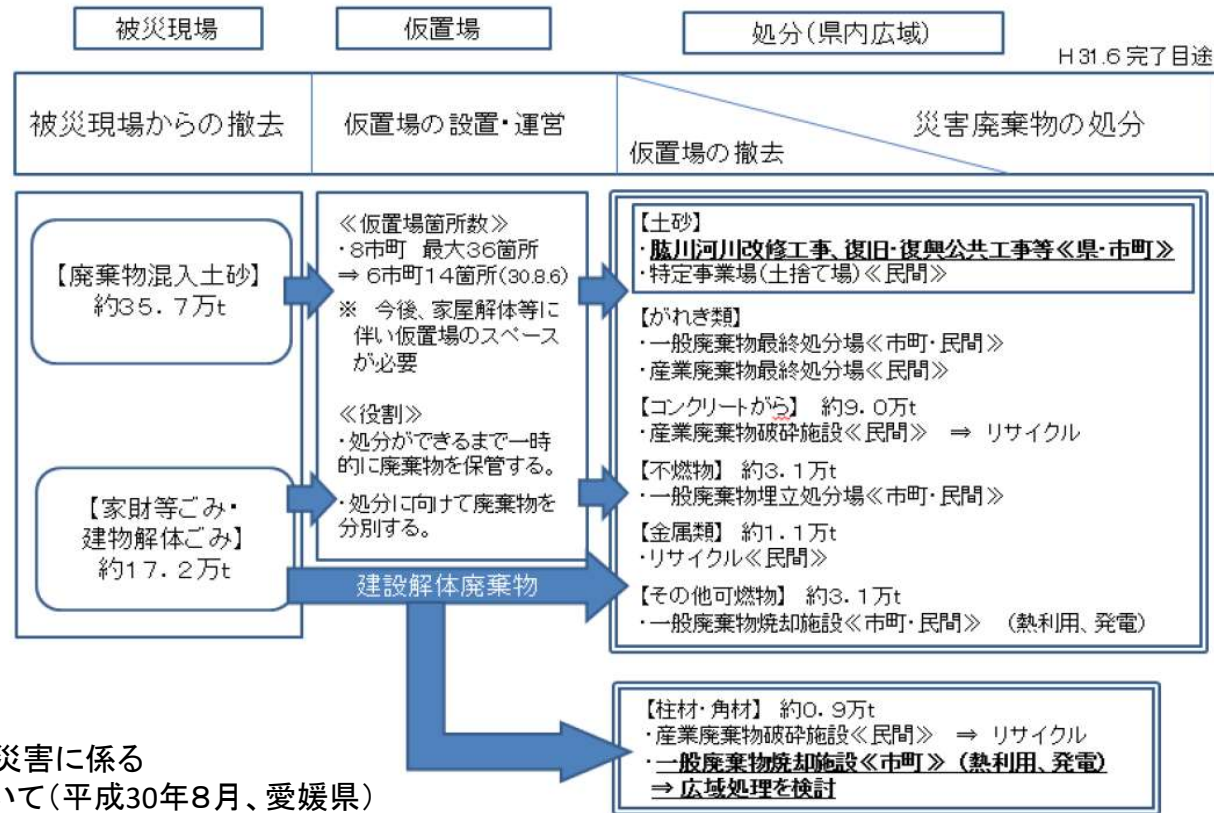
発生推計量 (A)	処理量(※) (B)	進捗率 (B÷A)	処理完了 目標
118.9万トン	42.0万トン	35.3%	2019年 12月

申請棟数 (A)	解体済棟数 (B)	進捗率 (B÷A)
1,503棟	990棟	65.9%

※速報値のため今後変わる場合がある。

# 愛媛県における災害廃棄物処理進捗状況 (平成30年7月豪雨)

## 処理フロー



出典:平成30年7月豪雨災害に係る  
災害廃棄物の処理について(平成30年8月、愛媛県)

(1) 災害廃棄物の処理状況(平成31年4月末時点)

発生推計量 (A)	処理量(※) (B)	進捗率 (B÷A)	処理完了 目標
24.7万トン	19.0万トン	76.9%	2019年 6月

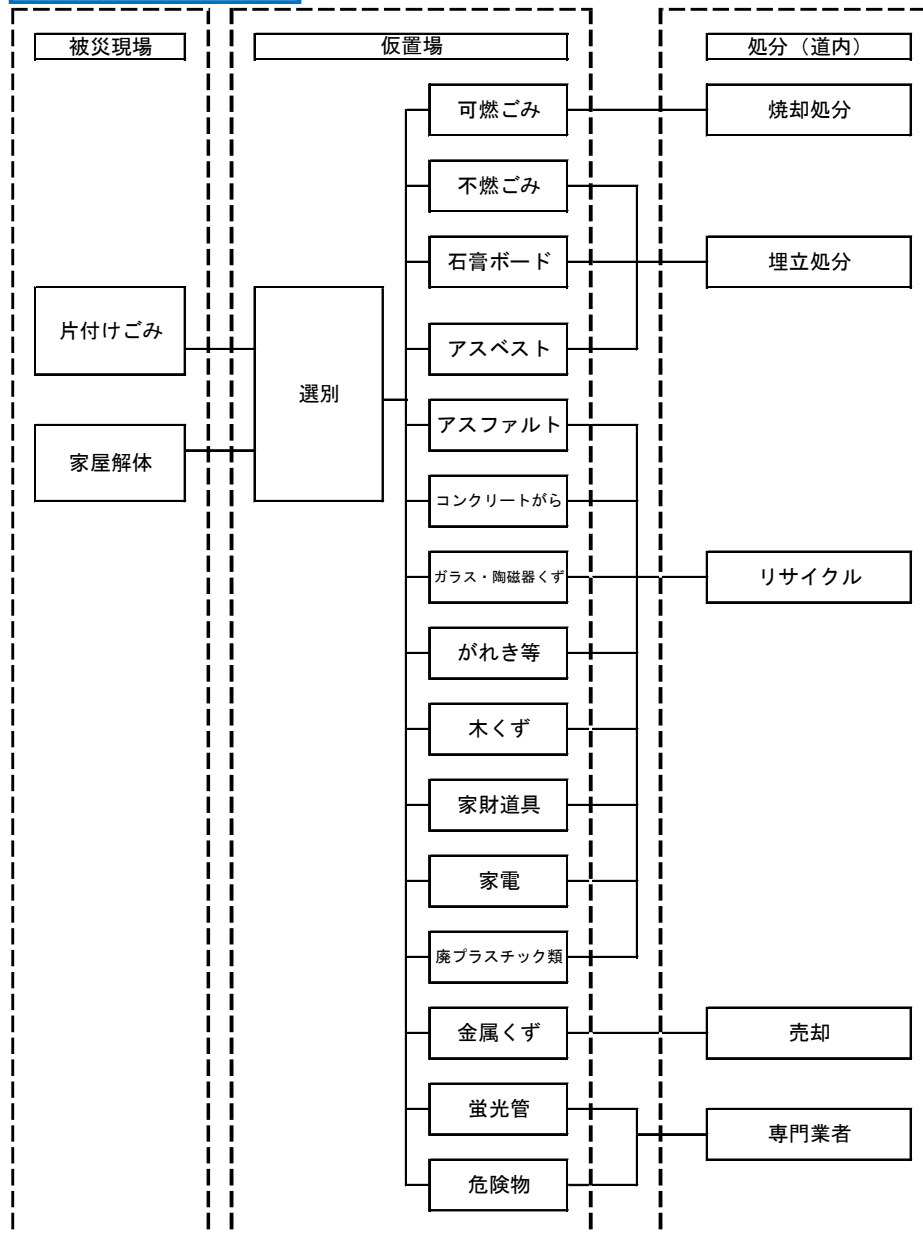
(2) 損壊家屋等解体の状況(平成31年4月末時点)

申請棟数 (A)	解体済棟数 (B)	進捗率 (B÷A)
776棟	477棟	61.5%

※速報値のため今後変わる場合がある。

# 北海道における災害廃棄物処理進捗状況 (北海道胆振東部地震)

## 処理フロー



### (1) 災害廃棄物の処理状況(平成31年4月末時点)

発生推計量 (A)	処理量(※) (B)	進捗率 (B÷A)	処理完了 目標
15.3万トン	1.6万トン	10.1%	2021年 3月

※速報値のため今後変わる場合がある。

### (2) 損壊家屋等解体の状況(平成31年4月末時点)

申請棟数 (A)	解体済棟数 (B)	進捗率 (B÷A)
820棟	299棟	36.5%